ツアー番号
LKJQNEXB2D

イースト・エクスプローラー（21日間）

21日間・20泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この21日間のツアーはスリランカの東部と中央部を網羅し、コロンボから文化三角地帯を経由して、トリンコマリー、パシクダ、アルガムベイの東海岸ビーチ沿いに移動し、エラとキャンディの丘陵地帯を通って、西海岸のネゴンボで終了します。移動は専用車両とシャフェール・ガイド付きで行われるため、固定されたコーチスケジュールではなく、旅行者のペースに合わせて進められます。

ハイライトには、ダンブッラの洞窟寺院、アヌラーダプラとポロンナルワの古代都市、シギリヤの岩の砦、そして乾季に象が大量に集まるミンネリヤ国立公園のサファリが含まれます。東海岸の区間では、トリンコマリーでの寺院訪問、クジラウォッチング、ピジョン島のサンゴ礁、パシクダとアルガムベイでの延長ビーチタイムをお楽しみいただき、野鳥観察のためクマナ国立公園への迂回路があります。最終日数はエラの遊歩道と展望台、エラとキャンディの茶園地帯、仏歯寺、ペラデニヤの王立植物園、キャンディ文化ショー、および出発前のネゴンボビーチでの立ち寄りをカバーしています。

その結果、文化、野生動物、ビーチタイムを組み合わせたいが地域を繰り返さない旅行者に適した長編イテラリーとなり、ツアーを分割するために沿岸での休息日が組み込まれています。



日程詳細

1日目　空港 → コロンボ

ツアーはコロンボの植民地時代の名所と街の暮らしが混ざり合う様子を見学するところから始まります。



コロンボ市内観光

旧灯台、旧国会議事堂、ゴール・フェイス・ホテル、ゴール・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館といった歴史的建造物を訪れ、独立広場のショッピングモールやレースコース、さらにブティックやデザイナーズショップも散策します。

Gihanud2001 · CC0

2日目 コロンボ → ダンブッラ → シギリヤ

文化三角地帯へ向かい、途中ダンブッラの石窟寺院に立ち寄ってシギリヤへ移動します。



ダンブッラ黄金寺院

紀元前1世紀にまで遡る歴史的な洞窟に入り、仏陀の生涯を描いた古代の壁画や、神王の洞窟、大王の洞窟、大新僧院など5つの主要な洞窟に点在する仏陀像や神々の像を見学します。洞窟群から少し離れた場所にある巨大な黄金の仏像もご覧いただけます。

Lankapic · CC BY 2.5

3日目 シギリヤ → アヌラーダプラ → ポロンナルワ → シギリヤ

古都アヌラーダプラとアヴカナの仏立像を訪れる日帰り旅行です。



アヌラーダプラ

10世紀まで千年以上にわたり都として機能した遺跡都市を歩き、仏塔や僧院建築、池などを巡ります。かつて古代世界で最も高い建造物のひとつであったジェータワナーラーマ、スリー・マハー菩提樹、アバヤギリ僧院の遺跡などの名所を訪れます。

Thisaru Tharuka · CC BY-SA 4.0



アヴカナ仏立像

一枚岩から彫り出された高さ40フィートの立像を見学します。背面のわずかな支えのみで自立しており、精緻に彫られた衣の襞や滑らかに彫刻された体つきが特徴です。近くには一部崩れた構造物が残り、かつては仏堂の中に安置されていたことがうかがえます。

Carlos Delgado · CC BY-SA 4.0

4日目 シギリヤ → ミンネリヤ → シギリヤ

シギリヤ・ロック・フォートレスに登り、村の暮らしを体験し、ミンネリヤ国立公園でサファリを楽しみます。



シギリヤ・ロック・フォートレス

ライオンの爪に見立てた入口を通り抜けます。これが「ライオンロック」という名の由来です。色あせない壁画を眺め、急な階段を登り、古代スリランカの水利技術を示す階段式庭園や現在も機能する貯水池を見学します。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

村での体験

牛車に乗り、静かな湖をカタマランで渡るのんびりとしたサファリを楽しみ、水田を歩きます。その後、伝統的な料理のデモンストレーションを見学し、蓮の葉に盛られた家庭料理の昼食をいただきます。



ミンネリヤ国立公園サファリ

5月から10月の乾季には、有名な「グレート・エレファント・ギャザリング」として150頭以上の象が一度に集まることで知られる公園でサファリを体験します。その他の哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類も見られます。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

5日目 シギリヤ → トリンコマリー

東海岸のトリンコマリーへ移動し、近隣の古代遺跡や自然スポットを巡る時間を取ります。



ティリヤーヤ・ワタダーゲ

古代にタミル系仏教が信仰されていた村、ティリヤイを訪れ、仏陀が2人の商人に髪の遺物を授けたとされる場所を示すギリハドゥ・セヤ・ストゥーパや、最後のヴァンニヤールの一人が築いた古い要塞を見学します。

AI生成画像・実際の写真ではありません



ホエールウォッチング・サファリ

スリランカ南方の海域でシロナガスクジラ、マッコウクジラ、ナガスクジラを観察する5時間のツアーに参加します。責任ある低インパクトな観察を重視する資格を持つナチュラリストが案内します。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0



ピジョン島国立公園

小ピジョン島と大ピジョン島、そして大ピジョン島を囲むサンゴ礁を訪れます。ここは野生のカワラバトの繁殖地であり、様々な種類のサンゴや海洋生物の宝庫です。

AntanO · CC BY-SA 4.0

6日目 トリンコマリー

トリンコマリーの寺院と要塞を探訪する一日です。



コネスワラム寺院

インドの詩人聖者たちに称えられ、世界各地の歴史的人物にも言及されたこの古い寺院を訪れます。歴史を描いた壁画と紀元前1580年に遡る洞窟聖堂があり、本殿は紀元前400年頃に発展しました。ここで礼拝したと伝えられるラーヴァナ王の巨大な像も見られます。

Shamli071 · CC BY-SA 3.0



フレデリック要塞

1624年にポルトガル人によって最初に築かれた要塞を訪れ、破壊される前のコネスワラム寺院を形成していた石を見学し、オランダ人による解体と再建の歴史を聞きます。

AntanO · CC BY-SA 4.0

7日目 トリンコマリー

海上の国立公園を中心に過ごす、トリンコマリーでのもう一日です。



ピジョン島国立公園

小ピジョン島と大ピジョン島、そしてそれを囲むサンゴ礁を探索します。ここは野生のカワラバトの繁殖地であり、多様なサンゴや海洋生物が生息しています。

AntanO · CC BY-SA 4.0

8日目 トリンコマリー

トリンコマリーでの自由な一日です。

自由時間

ホテルの施設やビーチを満喫する一日をお過ごしください。

9日目 トリンコマリー → パシクダ

海岸沿いを南へ移動し、ゆったりとくつろげるパシクダへ向かいます。

パシクダへの移動

朝食後にチェックアウトし、のんびりとした滞在のためパシクダへ移動します。

10日目 パシクダ(10日目〜11日目)

パシクダのビーチでゆったりと過ごす2日間です。

ビーチタイム

黄金色の砂浜、ゆれるヤシの木々、澄んだ青い海をお楽しみください。

12日目 パシクダ → アルガム・ベイ

古代寺院に立ち寄りながら、アルガム・ベイへ移動します。



ムフドゥ・マハー・ヴィハーラ

ポットゥヴィル近郊にある、2000年以上前にルフナ王国のカヴァン・ティッサ王によって建てられたこの仏教寺院を訪れます。古代仏塔の遺跡、シーマ・マーラカ、アヴァサ・ゲーヤ、そして石造りの仏像や2体の古い王または神の像など、今も残る遺構を見学します。

L Manju · CC BY-SA 4.0

13日目 アルガム・ベイ → クマナ → アルガム・ベイ

野鳥や湿地が魅力のクマナ国立公園への日帰り旅行です。



クマナ国立公園

クンブッカン・オヤ川とパナマ方面への南東海岸に囲まれた35,664ヘクタールの公園を訪れます。5月から6月にかけて多くの水鳥が巣作りを行うクマナ・ヴィル・マングローブ湿地や、野生動物を引き寄せるクダウィラ・ウェワ、トゥムッラ・ウェワ、コタリンダ・ウェワなどの水辺を見学します。

AntanO · CC BY-SA 4.0

14日目 アルガム・ベイ(14日目〜15日目)

アルガム・ベイのビーチでゆったりと過ごすさらに2日間です。

ビーチタイム

黄金色の砂浜、ゆれるヤシの木々、澄んだ青い海をお楽しみください。

16日目 アルガム・ベイ → エッラ

滝に立ち寄りながら内陸のエッラへ移動します。



ラーヴァナ滝

ラーヴァナ・エッラ野生動物保護区内にある、楕円形の凹んだ岩から82フィート落下するこの滝を見学します。最盛期にはビンロウの花が垂れ下がるような形になり、乾季には水量がかなり減少します。

A.Savin · FAL

17日目 エッラ

エッラの田園風景と名所を歩いて巡る一日です。



リトル・アダムズ・ピーク

鮮やかな緑の茶畑や岩場を通り抜け、リトル・アダムズ・ピークの景色を楽しみます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナイン・アーチ・ブリッジ

橋の上を歩き、その建設にまつわる物語を聞きます。

Deitel55 · CC BY-SA 3.0



デモダラ駅

ユニークなループ線の設計で知られるこの駅で散策を終えます。

A.Savin · FAL

18日目 エッラ → キャンディ

セイロン茶の製造工程を見学しながらキャンディへ向かいます。

紅茶工場とプランテーション

セイロン茶がどのように作られるかを見るため、紅茶工場とプランテーションを訪れます。茶は1824年にペラデニヤの王立植物園で初めて植えられ、1852年に到着しキャンディのルールコンデラ農園に定住したジェームズ・テイラーが、島に商業的な茶栽培をもたらしました。

19日目 キャンディ

キャンディで寺院、庭園、文化観光を楽しむ一日です。



仏歯寺

仏陀の聖なる歯を納め守るために16世紀に建てられた、このユネスコ世界遺産を訪れます。彫刻が施された柱や黄金の像が並ぶ、装飾された通路や彩色された広間を歩きます。

A.Savin · FAL



ペラデニヤ王立植物園

19世紀初頭に設立され、ランや香辛料、薬用植物、珍しい樹木、砲弾樹、吊り橋、生垣の迷路など4000種以上の植物が生息する庭園を散策します。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



キャンディ文化舞踊ショー

火の踊り手や剣の踊り手、太鼓の演奏に合わせて踊るキャンディアン・ダンサーなど、スリランカの伝統芸能を1時間にわたって上演する舞台を観賞します。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

20日目 キャンディ → ネゴンボ

西海岸のネゴンボへ移動し、ビーチでくつろぎます。



ネゴンボ・ビーチ

西海岸の砂浜を楽しみ、何世紀も続く漁業の様子を眺め、ウォータースポーツを試したり、海岸近くのサンゴや50年前に沈んだ難破船の周りでダイビングを楽しみます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

21日目 ネゴンボ → 空港

ツアーは空港への移動をもって終了します。

出発

朝食後にチェックアウトし、出発のため空港へ移動します。

含まれるもの

含む

- Breakfast
- Accommodation at 3 Star Hotels.
- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Entry Visa Fees.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Tips & Portages.
- Compulsory Supplements/Peak Supplements.